

[例題1] アフリカ豚熱（ASF）に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 病原体のアフリカ豚熱ウイルスは、フラビウイルス科のプラス1本鎖RNAウイルスである。
2. 甚急性型、急性型、亜急性型及び慢性型の各病型によって、病期は数日から約1か月と幅があるが、いずれの病型とも致死率はほぼ100%である。
3. 急性型では、白血球減少が認められ、病理学的には脾臓の腫大や腎臓、心臓及び肺などに出血性病変が認められる。
4. 発生国では生ワクチンが用いられており、我が国でも発生時に備えて備蓄されている。
5. 発生はアフリカ及びヨーロッパ地域に限られており、これまでアジア地域では発生したことがない。

[例題 2] プリオン病に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 牛海綿状脳症（BSE）は、宿主の正常プリオンタンパク質遺伝子の変異が原因である。
2. 羊のスクレイピーの潜伏期は、一般に牛の BSE の潜伏期よりも長い。
3. 肉食動物のプリオン病は報告されていない。
4. 慢性消耗病（CWD）は、シカ科動物のプリオン病である。
5. 人のクロイツフェルト・ヤコブ病の大部分は、BSE の人への感染が原因と考えられている。

[正答 4]